

現在の亀山市立図書館は昭和55年(1980年)に竣工しましたが、施設の老朽化、図書収蔵スペースの不足、子どもの安全や高齢化社会に配慮したアクセスになっていないことなどから、JR亀山駅前を移転先として整備計画を検討しています。

基本計画の策定にあたり、新しい図書館について市民の皆様と共に考えるため、公開型の「市民ワークショップ」や、各種団体へ出向いて意見をうかがう「おでかけワークショップ」「意見交換会」などを開催します。

このニュースレターでは、ワークショップの成果を中心に、図書館整備計画の進捗についてお知らせします。

新しい図書館を みんなで創ろう!



図書館整備の方針について

新しい図書館の整備に向けて、これまで亀山市にて以下の方針を定めています。2022年(平成34年)開館(予定)に向けて、本年度は3月までに基本計画を策定します。



◆「亀山市立図書館の今後の方向性」(平成28年10月策定)

- ① 親子・若年層に向けた読書活動をより厚く充実させること
- ② 利用困難者に向けた図書館サービスを充実させること
- ③ 市民ニーズだけでなく、**学びの拠点**にふさわしいサービスをめざすこと
- ④ 図書館の**機能・設備を拡充**すること
- ⑤ 図書館を核とした**生涯学習**として学びと交流を展開すること

◆「亀山市立図書館整備基本構想」(平成29年7月策定)

学びの場から
つながる場へ

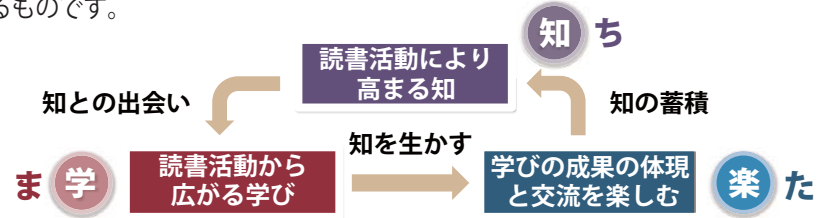


3つのコンセプト

- ① 読書活動により高まる**知**
- ② 読書活動から広がる**学び**
- ③ 学びの成果の体現と交流を**楽しむ**

～知る(ち)・学ぶ(ま)・楽しむ(た)～

「ち・ま・た」とは、古代において道の分岐・交差点を意味する「衢(ちまた)」にもつながり、古来より交通の要衝として栄え、街道文化が花開いた亀山の地で、様々な情報が集まり、その情報をもとに人と人が語り、新たな地平が広がる場をイメージするものです。



今年度の検討の進め方

基本計画策定までの議論の進め方のイメージです。

基本計画の策定

	第1回	第2回	第3回	第4回
図書館整備推進委員会 学識経験者、団体役員、一般公募市民、市職員により構成され、整備計画について検討します。				
市民ワークショップ 公募で参加者を募り、テーマに沿って、意見を出したり計画内容を確認します。				
おでかけワークショップ 図書館で特に利用の鍵となる方のところへ出向きワークショップを行います。	中学生	高校生	就学前児童保護者	
意見交換会 各種団体へ出向き、意見交換を行います。	かめやま若者会議		小・中学生保護者	
	図書館ボランティア団体		生涯学習推進会議	
		社会教育委員会		
	福祉団体・まちづくり協議会		図書館運営委員会	

第1回図書館整備推進委員会を開催しました

平成29年12月15日(金)

各委員へ委嘱状が手渡されるとともに、基本構想の説明とこれからの計画の進め方などについて確認・議論を行いました。また、委員長には滋賀大学の横山幸司教授、副委員長には愛知工業大学の中井孝幸教授が選ばれました。



おでかけワークショップを開催しました!

新しい図書館について夢や想いを語ろう!
～図書館を創ろう!～

平成29年11月17日(金)
参加者:かめやま若者会議メンバー

ワーク①「こんな図書館はいやだ!」

- ・狭い、暗い
- ・理解できそうな本がぱっと見つからない

ワーク②「こんな図書館がいいな!」

- ・関のまちなみ風のおしゃれな図書館
- ・オープンな触れ合いの場がある
- ・本を読みながらさまざまな実践ができる



新しい図書館について夢や想いを語ろう!
～図書館を創ろう!～

平成29年11月24日(金)
参加者:中部中学校・生徒

ワーク①「今の図書館ってどんなイメージ?」

- ・静か、暗い、遠いイメージ

ワーク②「こんな図書館がいいな!」

- ・バリアフリーで皆が入りやすい図書館

ワーク③「新しい図書館のキャッチコピー」

- ・本の数より人が来る



こんな図書館になったらいいな!
～こんな図書館なら親子で行ってみたい!～

平成29年12月7日(木)
参加者:PTA 連合会役員・評議員、各園・学校職員、教職員組合

ワーク「こんな図書館なら行ってみたい!」

- ・待ち合わせ可能な談話室が欲しい
- ・子どもを見ながら親が本を読む場所が欲しい
- ・展示物を多くして、何があるのかを探すのも楽しめる
- ・明るく入りやすいカフェのような図書館がよい
- ・託児をしてもらえると助かる
- ・開架図書を多く取って欲しい



第1回市民ワークショップを開催しました！

平成 29 年 12 月 17 日 (日)、総合保健福祉センター「あいあい」にて「新しい図書館についての夢や想いを語ろう！」というテーマのもと、6つのグループに分かれて話し合い、発表をしました。



先進事例の紹介

愛知工業大学の中井孝幸教授より、「にぎわいのある「場」としての図書館」として最近の図書館事例を紹介いただきました。来館者への調査により、図書館がどのように使われているのかわかることができ、図書館の役割や永く地域に愛される図書館像を考えるきっかけになりました。



◆アイスブレイク

ステップ0 自己紹介&亀山のまち自慢

「亀山のまちで自慢できるところ」を各自1つ紙に書き、6つのジャンル(「屋外」「屋内」「歴史」「モノ」「コト」「その他」)に分かれて集まって発表しました。まちの特徴も図書館づくりのヒントになります。

■屋外

- ・自然が豊か、のどか
- ・水や空気がおいしい
- ・四季が感じられる
- ・多様な生物がいる
- ・公園が多い
- ・津波がなく災害に強い
- ・交通の要所

■歴史

- ・宿場町、亀山城などの昔の歴史やまちなみ

■モノ

- ・亀山茶

■コト

- ・街道祭り (関宿)

■その他

- ・まちの雰囲気がおだやかで人が優しい



◆グループワーク：以下2つの内容のテーマに沿って話し合いを行い、新しい図書館に向けてイメージを膨らませました

ステップ1 今の図書館のイメージは？「◎いいところ」「△イマイチなところ」



ハード (建物、空間など)		ソフト (使い方、活動、しくみなど)	
立地・外構	学習室	活動・イベント・掲示	検索
◎ 緑が多く静かな環境 △ アクセスが悪く、車がないと不便 △ 駐車台数が少なく、駐車区画が狭い	◎ 集中できる環境が整っている △ 本が持ち込めない	◎ 読み聞かせやテレホン童話の実施 ◎ テーマに沿った展示や選書がよい △ イベントが少なくなった	△ 検索システムと蔵書位置が一致していない 図書館運営 ◎ 団体貸出がある ◎ 返却ポストが便利 ◎ 家電回収ボックスが便利 △ facebook とホームページの情報不整合
施設全体	幼児コーナー	蔵書・書架	スタッフ
◎ 内装や家具に木の温もりがあってよい △ 古い、暗い、狭い	◎ 設備などが充実している △ 授乳室などがあるとよい	◎ 紙芝居が多くあってよい △ 蔵書数が少ない △ DVD の種類が少ない △ 配架が分かりにくい △ 予約した図書の貸出に時間がかかる	◎ 案内などの対応がよい △ 専門職員が不足している
図書ゾーン	休憩スペース		
◎ 閲覧スペースが書架の近くにあるとよい △ 閲覧スペースが狭い	△ 飲食・休憩など多目的スペースが不足 △ ブースが狭い、数が少ない		
	AV コーナー		

ステップ2 こんな図書館になるといいな

ハード (建物、空間など)		ソフト (使い方、活動、しくみなど)	
立地・外構	建物	立地・外構	スタッフ
・十分な駐車台数、駐輪台数の確保 アクセス ・アプローチにおける歩行者の安全配慮	・緑や自然が感じられるように ・自然光を活かし明るく開放的に ・意匠に富んだ外観に	・駐車場利用料金の検討 ・公共交通による移動手段を併せて整備	・正規職員、司書、専門職員の充実 運営
付帯機能	ユニバーサルデザイン	書架スペース	他施設との連携
・くつろげるスペース (飲食、談話) ・読み聞かせ、対面朗読などのスペース ・発表、講演、イベントスペース ・展示、市民情報掲示スペース	・子連れも気兼ねなく利用できるスペース ・外国人の方も利用しやすく ・障がいを持つ方が利用しやすく	・おすすめ本の充実 蔵書 ・図書館ならではの蔵書の充実 ・話題本や人気本が借りやすいように	・図書館での飲食 OK の運用 ・学習室に本の持ち込みが可能に ・インターネットによる情報の充実 ・学校図書館との連携 ・歴史博物館と連携した郷土資料展示

まとめのキーワード

子育てと連携

ちょっと立ち寄れる場所に

市民の情報発信・活動拠点

本をきっかけに新たな学びを

居心地のよい居場所づくり

他の施設との連携

全ての世代や立場の人が利用しやすく

みんなに自慢できる図書館！

中井先生のまとめ

いい図書館にするには、完成後も長く皆さんに使い込んでいただく必要があります。住民のうち図書館を利用している人の割合は一般的に 30%程度と言われています。他の公共施設と比べると高いですが、より多くの方に利用していただけるよう、学校図書館や他の施設と連携しながらそのきっかけづくりを考えていくことが重要です。前向きで建設的な意見が多く、できそうなことが多くでできました。残りのワークショップでいかに具体化していくかを考えていきましょう。



今後の市民ワークショップの予定

【時間は全て】10:00~12:00

【場 所】総合保健福祉センター「あいあい」
【日程・テーマ】第2回 1/21 (日)：子どもと図書館、みんなと図書館
~図書館+αでこんな場所になるといいな!~

【場 所】青少年研修センター
【日程・テーマ】第3回 2/10 (土)：さまざまな立場に立って考えよう

【場 所】総合保健福祉センター「あいあい」
【日程・テーマ】第4回 3/17 (土)：開館までこれから何をしよう?
~開館まで、閉館後を見据えて~

■発行：亀山市 教育委員会事務局 生涯学習室
〒519-0195 三重県亀山市本丸町 577 番地
電話：0595-84-5057 FAX：0595-82-6161
メール：syougaku@city.kameyama.mie.jp
担 当：亀山、小坂

■ワークショップ運営
：(株)東畑建築事務所
■ワークショップアドバイザー
：中井孝幸 (愛知工業大学教授)

